



写真 1 間重富観測の地(長堀グリーンプラザ)

堀グリーンプラザと呼ばれる緑地帯になって昔の面影は全くない。

文暦 6 (1756) 年丙子三月八日に生れた重富は、文化 13 (1816) 年丙子三月二十四日に 61 歳で亡った。彼の思想は重新、重遠、重明へと引き継がれたが明治 2 (1862) 年、「農商の苗字帯刀及び給俸免役の類、幕府の命令に出るものは一切これを停む」という維新政府の布令によってその機能を停止した。この間家の菩提寺は、

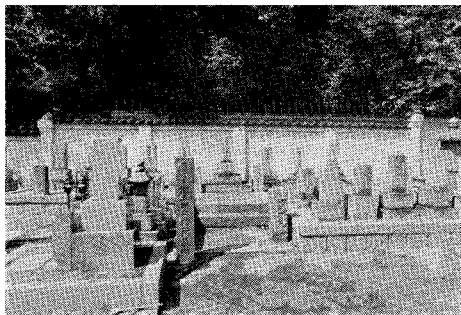


写真 2 間重富一族墓地(統国寺)

大阪・阿倍野茶臼山の邦福寺であった。始めその姓を羽間氏と称していたが、天明初年頃に重富が間民と改めた。墓所は昭和 8 年から 10 年にかけて重富の傍系の子孫で、大阪市・府議會議員であった羽間平三郎氏 (1972 年 78 歳で歿) の手で移転・整備された。その時出土した重富愛用の眼鏡や曲尺などは多くの文書と共に現在羽間文庫に保存されている。

邦福寺はその後、昭和 40 年代に金景煥師をむかえて寺名も和氣山統国寺(百濟古念仏寺)と改められた。場所は茶臼山古墳の東北隅で、天王寺公園東入口の派出所から北へ約 100 米、グリーンヒル・ホテルの看板を目印に、西へ入るとすぐである。墓は本堂の左手奥にあり、周囲より一段高くなっているのですぐ目にとまる。よく知られている「長涯間先生之墓」を中心に 20 墓余り、重新が建立した墓や「天文道具工人・庄兵衛・藤兵衛」の十一屋店中建立の墓碑などがある。

(大阪市立電気科学館 菊岡秀多)

◇ 4 月の天文暦 ◇

日	時	記	事
3	23	水星	内合
4	7	金星	内合
5	5	清明	(太陽黄経 15°)
5	10	海王星	留
5	21	望	
6	3	月	最近
12	14	下弦	
16	9	水星	留
20	2	月	最遠
20	13	穀雨	(太陽黄経 30°)
20	14	朔	
22	20	金星	留
23	23	冥王星	衝
28	13	上弦	

◇ 4 月の日月惑星運行図 ◇

